

1. 目指す学校

【田原小学校 教育目標】

○思いやりのある子 ○自ら学ぶ子 ○ねばり強い子 ○じょうぶな子

笑顔いっぱい、夢いっぱい

子どもが主役、笑顔の学校

目指す学校像	目指す児童像	目指す家庭・地域像
<ul style="list-style-type: none"> ・地域を愛し、地域に愛される学校 ・一人一人が成長を実感できる学校 ・チームワークよくいきいき動く学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感、自己有用感をもち、夢と希望をもつ児童 ・誰にでも自分からあいさつができる児童 ・健康に気を付け、心と体を鍛える児童 ・お互い認め合い、協力し合える児童 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供にとって住みたい地域、自慢の地域 ・子供たちの未来を考える家庭・地域 ・子供のチャレンジと成長を見守る家庭・地域 ・学びの好循環を生み出す家庭・地域

2. 教育活動の目標と方策

思いやりのある子

※相手の立場や気持ちを理解する心の育成
 ○あいさつ・正しい言葉遣いのできる児童の育成。
 ○自他の生命を尊重し、共に生きる心を大切に育て、児童が互いに豊かな人間性・社会性を育成し合う関係を築く。
 ・集会や交流体験活動を通じた自己肯定感・自己有用感の育成
 ・いじめ・不登校・問題行動の予防体制の確立
 ・特別支援教育の協同的校内組織の確立（全教職員で情報共有・統一指導）
 ・保護者・地域との連携、児童の指導に当たって「担任以外は副担任」を原則
 ・児童の精神的ストレスを軽減させるための教育相談体制の充実

自ら学ぶ子

※学び合う力とコミュニケーション力の向上
 ○学習に集中できる時間低学年15分、中学年20分、高学年30分という目標をもつ。
 ○児童の発達段階を考え、系統的な学びを実践しながら基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせる。
 ・体験的・操作的な学習活動の充実と主体的・対話的な深い学びの確立
 ・タブレット端末を利用した多様な学びの推進
 ・個に応じたわかる授業の創造（授業におけるユニバーサルデザイン）
 ・東京BDの活用 ・探究的な読書活動の推進
 ・外国語活動指導の充実、特別の教科道徳における指導の工夫
 ・校内研修の活性化と学力調査結果等の分析を生かした授業改善
 ・発達段階に応じた学習規律と学習習慣の確立
 ・自尊感情を高める授業の振り返り

ねばり強い子

※最後まで課題に向き合う力の育成
 ○課題に向き合い最後まで取り組む子
 ・全教育活動を通じたねばり強い子育成への取り組み
 ・授業の振り返りを大切にし、学びを実感できる授業を積み重ね、児童の自尊感情を高める。
 ・特別活動を中心に全教育活動を通して、相手の気持ちを理解し、自分の考えを的確に伝え、実践に生かせる能力を育て、最後まであきらめずにやり遂げる体験を積み重ね、自尊感情を高める指導を行う。

じょうぶな体

※基礎体力の向上と望ましい生活習慣の育成
 ○健康でじょうぶな体作りを推進する。
 ○基本的な生活習慣の確立と危険を予知し、回避する能力の育成を図る。
 ・タブレット端末使用における健康面へのルールの統一
 ・健康的な生活習慣の確立
 ・給食指導と関連した食育の推進

3. 今年度の主な取組

開校115周年に向けての共育・協働

確かな学力を身に付ける

○発達段階に応じた学習規律と学習習慣を確立し、安心して自分の意見を言える学習集団を作る。
 ○個に応じたきめ細やかな指導を行うと共に、ペア学習やグループ学習を通して、児童が良さを発揮し合い、認め合い、学び合う活動を大切にする。
 ○朝学習の活用、家庭学習を充実し、読み・書き・計算等の基礎学力の定着を図る。
 ○読書活動への興味・関心を高める。
 ○校内研修を活性化し、学力調査結果等の分析を生かし、組織的に授業改善と学力向上に取り組む。

豊かな情操を育む

○気持ちのよいあいさつ・正しい言葉遣いのできる子を目指し、児童自らあいさつをしようとする実践的な態度を育む。日常から教職員は、正しい言葉で話すことや、黒板などに丁寧な文字を書くこと等に留意し、言語環境を整える。
 ○人権に配慮した教育、特別の教科道徳を中心とした道徳教育の充実を図る。
 ○心の居場所を確保する。
 ○地域学習・体験交流学习や特別活動の中心にして、自己肯定感を高める。
 ○特別支援教室巡回指導について理解を深めると共に、児童の実態や変容について情報交換を定期的に行い、共通理解を図る。

健康・体力の増進を図る

○うがい・手洗いなど、自分の健康を守る指導の充実を図る。
 ○遊びや体育の授業の充実を通して体力向上を図る。
 ○SNSルールを基に、タブレット端末等の使用方法について共通理解を図る。
 ○家庭と協力し、基本的な生活習慣の確立を図る。
 ○給食指導や食育を計画的に実施し、望ましい食習慣を育成する。

安全で安心な環境の整備を徹底する

○校舎内外の整理・整頓に努め、快適な学習環境を維持する。
 ○安全指導、防災教育をはじめとする学校の危機管理体制について、全教職員で確認と共通理解を図る。
 ○セーフティ教室、薬物乱用防止教室等を実施し、児童の危険予見能力・回避能力を育成する。

保護者・地域との共育・協働に努める

○地域に関連する学習を行う。
 ○学校便り、学年便り、HP等を通じて、日常的に説明責任を果たす。
 ○PTA・地域との連携に努める。
 ○地域行事等への子供たちの参加を奨励する。
 ○幼小中の連携を強化する。
 ○学校関係者評価の充実に努め、教育活動の改善・実施・分析・公表を行う。